

転ばぬ先のかわら版 vol.16 平成26年秋号

発行：千葉司法書士会 法教育推進委員会

企業による顧客情報漏洩問題がニュースになっています。大量の個人情報
を保有している企業がその管理を徹底させることはもちろんですが、ネット
社会において、私たちも自分で個人情報を守ることが必要です。そこで、今
回はパソコンやスマートフォンから個人情報を流出させないためのお話をし
ます。

個人情報流出の危険

個人情報が流出すると名簿業者によって個人情報が売買され、名簿を悪用
した悪徳商法などの被害に巻き込まれる恐れがあります。

クレジットカード番号や銀行口座情報が流出した場合は、クレジットカード
を勝手に使われて高額な請求がくる恐れがあります。

他にも、流出した情報を悪用した架空請求、なりすまし、脅迫やストーカ
ーなどの別の犯罪が誘発される可能性もあります。

個人情報流出の原因は

個人情報流出の原因には、偽装サイトやコンピュータウイルス、フィッシ
ングなどがあります。

例えば、懸賞サイトやショッピングサイトを装って会員登録をさせる手法
があります。これは、「高価なものが無料登録するだけで当たる」「格安に商
品が買える」などといった甘い言葉で勧誘し、実際は個人情報を集めること
だけを目的にした悪質なサイトです。

コンピュータウイルスにパソコンが感染してしまい、ネット上に個人情報
が流出するケースもあります。また、スマホでも個人情報を盗むウイルスア
プリが存在しています。

フィッシング詐欺は、自分の使用している銀行やカード会社から来たメー
ルだと見せかけて、銀行の口座番号、パスワード、クレジットカード番号な
どを盗みだす手法です。

個人情報流出を防ぐために

その一 怪しいメールに注意しましょう。覚えのないところから勧誘メー
ルや迷惑メールが届くことがあります。こういうメールには絶対返信し
てはいけません。銀行やクレジットカード会社がメールで顧客の口座
番号やクレジット番号、パスワードを確認することはありませんので、
このような問いかけのメールには注意してください。

その二 パスワードを厳重に管理しましょう。簡単に盗まれないためには、
「パスワードを誕生日のような簡単なものではなく難しいものにする」
「定期的にパスワードを変更する」「同じパスワードを複数サイトで使
いまわさない」といった対策をしましょう。

その三 アプリの入手は慎重に行いましょう。一見便利そうだからと、むや
みやたらとアプリをインストールしすぎると、ウイルスの罠にかかる
可能性があります。スマホにもパソコンと同じくセキュリティソフト
をインストールしておくことをお勧めします。

その四 ネット上で安易に個人情報を公開したり、見知らぬ人に自分の個人
情報を教えてはいけません。個人情報は、本人の軽はずみな行動で流
出してしまう反面、ほんのちょっとの警戒心で守ることができます。
ネット社会は危険が潜んでいることを心がけて、パソコンやスマート
フォンを利用しましょう。

◆消費者教育高校生講座◆

千葉司法書士会では、毎年県下の高校に講師を派遣し、
標記事業を行っております。

司法書士としての実務経験を生かして、契約の基礎や、
悪質商法への対処法、多重債務問題等について講義をし、
これから社会に出る生徒の皆さんに法的なものの考え方
を学んで頂くことを目的としております。



活動実績

平成20年度： 5校で開催	平成23年度： 20校で開催
平成21年度： 18校で開催	平成24年度： 18校で開催
平成22年度： 17校で開催	平成25年度： 12校で開催

お問い合わせ先：千葉司法書士会事務局 043-246-2666